

科目名	足底板製作Ⅰ			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	整形靴科1年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
疾患へのアプローチとしての足底板の機能性を学び、その製作方法を習得することを目的とする。足底板は靴の中へ入れるものなので、同時に靴の内部の構造への理解が不可欠である。足底板の構造、各部の機能への理解を元に、足・靴に適合した足底板の製作を目的とする。また、トリッシュャムを使用した座位での採型方法を習得することを目的とする。							
〔授業全体の内容の概要〕							
1日にいくつかの製作課題を与え、それを完成させる。まず講師が製作方法等について講義をし、その後製作のデモンストレーションをした後、学生は時間内にその課題を完成に向けて製作していく。製作途中、または完成後に講師がチェック・評価を行う。本実習の製作課題は、ペロッテ→プレハブ式足底板→カスタムメイド足底板の順にステップアップしていく。							
〔講師の実務経験〕							
整形靴・義肢装具製作会社である株式会社大井製作所、有限会社平井義肢製作所に勤務。整形靴および足底装具の製造、接客業務に従事。2016年12月よりオーダー靴、整形靴の製作工房を開業。靴およびインソールの製作、靴修理、接客、販売を行なう。							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
①フットプリントからペロッテ・内側縦アーチサポート・クボイドサポートの設計ができる							
②プレハブ式の足底板製作ができる							
③トリッシュャムを使用した座位採型ができる							
④足・靴に合わせてカスタムメイドの足底板を製作できる							
回数	講義内容						
1	フットプリントの採取と情報収集練習／足底板の基礎知識講義						
2	ペロッテ・アーチサポート・クボイドサポートの設計						
3	ペロッテ製作						
4	ペロッテ製作						
5	ペロッテ製作						
6	トリッシュャムでの採型練習						
7	ペロッテ・アーチサポート・クボイドサポートの設計						
8	プレハブ式足底板の製作						
9	プレハブ式足底板の製作						
10	プレハブ式足底板の製作						
11	カスタムメイド足底板製作の流れ講義／石膏を使用した陽性モデル製作						
12	陽性モデル修正						
13	陽性モデル修正						
14	陽性モデル修正						
15	陽性モデル修正						
16	カスタムメイド足底板製作（真空成型）						
17	カスタムメイド足底板製作（足底板の削りだし）						
18	カスタムメイド足底板製作（足底板の削りだし）						
19	カスタムメイド足底板製作（足底板の削りだし）						
20	カスタムメイド足底板製作（足底板の削りだし）						
21	カスタムメイド足底板製作（クッション貼り）						
22	カスタムメイド足底板製作（クッション貼り）						
23	カスタムメイド足底板製作（仕上げ）						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
	書籍名	著者名	出版社				
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】							
実習中の製作物で評価							